

# 山梨大学教育学部附属教育実践総合センター センターだより第162号(通巻第229号)

2018年5月31日 発行  
山梨大学教育学部  
附属教育実践総合センター  
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790  
E-mail: jissen@ml.yamanashi.ac.jp  
URL: http://www.cer.yamanashi.ac.jp/

## ■ 平成30年度「第1回連携・教育研究会」の報告

平成30年5月7日(月)に、山梨県総合教育センターにおいて、「第1回連携・教育研究会」を開催しました。この取組は、教員養成や教員研修に関わって、山梨大学と山梨県教育委員会(山梨県総合教育センター)がそれぞれの「強み」を生かして連携し、双方の成果を上げようという研究会です。

会議では、昨年度の反省を踏まえた中で、今年度の取組の方向性等が確認されました。2本柱で取り組んでいきますが、一つは「連携・教育研究会」。例年、9月に第1回を開催していましたが、山梨県総合教育センターの研究に山梨大学の教員が早めに関わってほしいとの要望等があり、今年度から5月に開催することとなりました。年間5回開催し、山梨県総合教育センターの新しい研究スタイルに合わせて、協力していくことが確認されました。山梨県総合教育センターでは、従来の一主事

一研究から「グループ・領域ごとのチームとしての協働研究」に移行し、「資質・能力の育成に向けた学校教育への総合的な支援～生きる力を育む実践的指導の在り方～」という研究テーマのもと、「実践的な学校支援型」の調査研究を行っていきます。グループ研究は4つで、「①授業・学校づくり」「②情報教育」「③教育相談」「④特別支援教育」です。それぞれに研究支援協力校とICT活用校、研究協力校を指定し、2～3年の継続研究を行っていきますが、そのそれぞれに大学教員がアドバイザーとして入り、研究協力していきます。

二つ目は、山梨大学の学生に対して行う「学校制度・経営論」の講義を、山梨県総合教育センターの先生方も担当するという事です。より現場に近い立場で、研究によって培った知見を活かし、教育学部の4年生に対して講義をしていただきます。

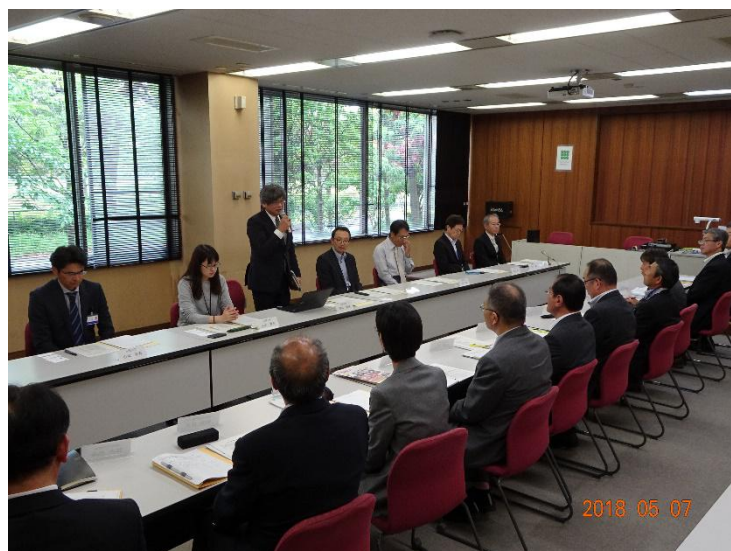
山梨県総合教育センターにおける研究への支援に関わって、大学側から今年度は以下の教員が参加します。附属教育実践総合センターからは、田中勝センター長、渡井渡特任教授、山本英寿教授、成田雅博准教授、川本静香准教授、小川巖客員教授、岡田正志客員教授、氏原一宏客員教授、猪股



田中センター長



斉木センター所長



2018 05 07

真弥准教授が、そして、大学院教育学研究科からは、教育支援科学講座の鳥海順子教授が参加します。双方の「強み」を生かした連携を通して、山梨県の教育の益々の発展に寄与できればと思っています。

## ■「地域連携子どもと親と教師のための教育相談事業」第1回連絡協議会

山梨大学と山梨県教育委員会，教育四者（山梨県PTA協議会・山梨県公立小中学校校長会・山梨県公立小中学校教頭会・山梨県連合教育会）による「地域連携 子どもと親と教師のための教育相談事業」の第1回連絡協議会が，5月9日（水）に開催され，17名の委員が集まりました。事業内容の確認や，昨年度の県内のいじめ，不登校，その他の問題行動に関する報告ならびに相談体制に関する情報交換が行われました。また，山梨大学委員（川本）による教育相談に関する研修が行われました。

## ■平成30年度教育相談室連絡協議会が開催されました

5月15日に本年度第1回教育相談室連絡協議会が行われ，大学教員，大学教育相談室非常勤相談員，附属学校園の教育相談担当教員が集まり，各教育相談業務に関する情報共有や今後の課題等について協議しました。附属学校園では，教育相談のニーズが高まっており，附属幼稚園・小学校・中学校に配属されているスクールカウンセラーと教育相談担当教員が連携をして教育相談活動を行っていることが報告されました。今年度も例年通り，年に3回の連絡協議会の開催を予定しております。

## ■教育実習生に対するメンタルサポートを実施します

附属教育実践総合センターでは，教育実習生の心理面での不調などに対して臨床心理士が面接相談によるサポートを実施しています。前期の教育実習期間中，附属小学校および中学校のスクールカウンセラーや保健管理センターとも連携し，相談体制を整え，実習生のサポートを行っております。

---

これまでのセンターだよりの一部は， <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/centerdayori.html> で見ることができます。